

# Contents

- 初めてでも分かりやすい！ 動画で学ぶ本！ ..... 2
- 1級建築施工管理技術検定試験 第二次検定 受検ガイダンス **無料 YouTube** 動画講習 6
- 最新問題の一括要約リスト ..... **無料 YouTube** 動画講習 14

## 本編

- 第1章 施工経験記述 **無料 YouTube** 動画講習
  - 最新10年間の施工経験記述の傾向と対策 ..... 25
  - 1.1 施工経験記述 技術検定試験 重要項目集 ..... 26
  - 1.2 施工経験記述 最新問題解説 ..... 39
- 第2章 施工計画
  - 最新10年間の施工計画の傾向と対策 ..... 111
  - 2.1 施工計画 技術検定試験 重要項目集 ..... 112
  - 2.2 施工計画 最新問題解説 ..... 121
- 第3章 施工管理 **無料 YouTube** 動画講習
  - 最新10年間の施工管理の傾向と対策 ..... 176
  - 3.1 施工管理 技術検定試験 重要項目集 ..... 179
  - 3.2 施工管理 最新問題解説 ..... 199
- 第4章 躯体工事 **無料 YouTube** 動画講習
  - 最新10年間の躯体工事の傾向と対策 ..... 269
  - 4.1 躯体工事 技術検定試験 重要項目集 ..... 271
  - 4.2 躯体工事 最新問題解説 ..... 289
- 第5章 仕上げ工事 **無料 YouTube** 動画講習
  - 最新10年間の仕上げ工事の傾向と対策 ..... 396
  - 5.1 仕上げ工事 技術検定試験 重要項目集 ..... 398
  - 5.2 仕上げ工事 最新問題解説 ..... 411
- 第6章 建築法規
  - 最新10年間の建築法規の傾向と対策 ..... 510
  - 6.1 建築法規 技術検定試験 重要項目集 ..... 512
  - 6.2 建築法規 最新問題解説 ..... 520

## 攻略編

- 令和6年度 虎の巻(精選模試) 施工経験記述編 ..... 569
- 令和6年度 虎の巻(精選模試) 第一巻 ..... **無料 YouTube** 動画講習 579
- 令和6年度 虎の巻(精選模試) 第二巻 ..... **無料 YouTube** 動画講習 592
- 施工経験記述添削講座(読者限定の有料通信講座) ..... 606

初めてでも  
分かりやすい!  
動画で学ぶ本!



本書  
スーパーテキストシリーズ  
分野別 問題解説集



**4** **無料 YouTube 動画講習**

これなら解る!  
**Good!**

<https://get-ken.jp/>

GET 研究所  → 無料動画公開中 → 動画を選択

# 5日間の集中学習で完全攻略!

本書は最短の学習時間で国家資格を取得できる自己完結型の学習システムです!

本書「スーパーテキストシリーズ 分野別 問題解説集」は、本年度の第二次検定を攻略するために必要な学習項目をまとめた虎の巻(精選模試)とYouTube 動画講習を融合させた、短期間で合格力を獲得できる自己完結型の学習システムです。

2日間で **問題1** の施工経験記述が攻略できる!

YouTube 動画講習を活用しよう!

YouTube 動画講習を視聴し、施工経験記述の練習を行うことにより、工事概要・品質管理・工程管理・建設副産物の書き方をすべて習得できます。



3日間で **問題2** ~ **問題6** が攻略できる!

虎の巻(精選模試)に取り組もう!

本書の虎の巻(精選模試)には、本年度の第二次検定に解答するために必要な学習項目が、すべて包括整理されています。

# 無料 YouTube 動画講習 受講手順

スマホから



<https://get-ken.jp/>

GET研究所 検索



← スマホ版無料動画コーナー QRコード

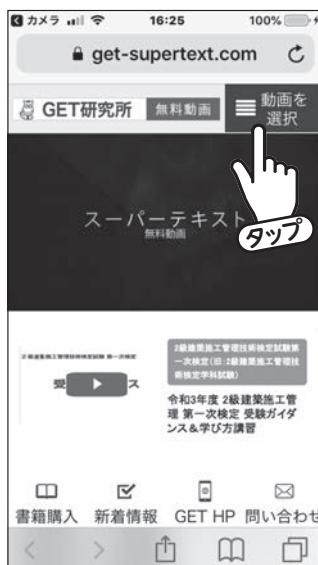
URL <https://get-supertext.com/>

(注意) スマートフォンでの長時間聴講は、Wi-Fi 環境が整ったエリアで行いましょう。

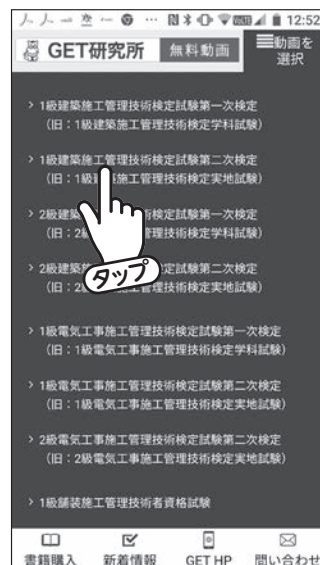
① スマートフォンのカメラでこの QR コードを撮影してください。



② 画面右上の「動画を選択」をタップしてください。



③ 受講したい受検種別をタップしてください。



④ 受検種別に関する動画が抽出されます。



画面中央の再生ボタンをクリックすると動画が再生されます。

※ 動画の視聴について疑問がある場合は、弊社ホームページの「よくある質問」を参照し、解決できない場合は「お問い合わせ」をご利用ください。

# GET WEB 講習

パソコンから <https://get-ken.jp/>  
GET研究所 検索

①



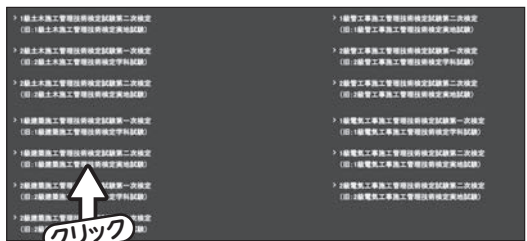
②



③ 画面右上の「動画を選択」をクリックしてください。



④ 受講したい受検種別をクリックしてください。

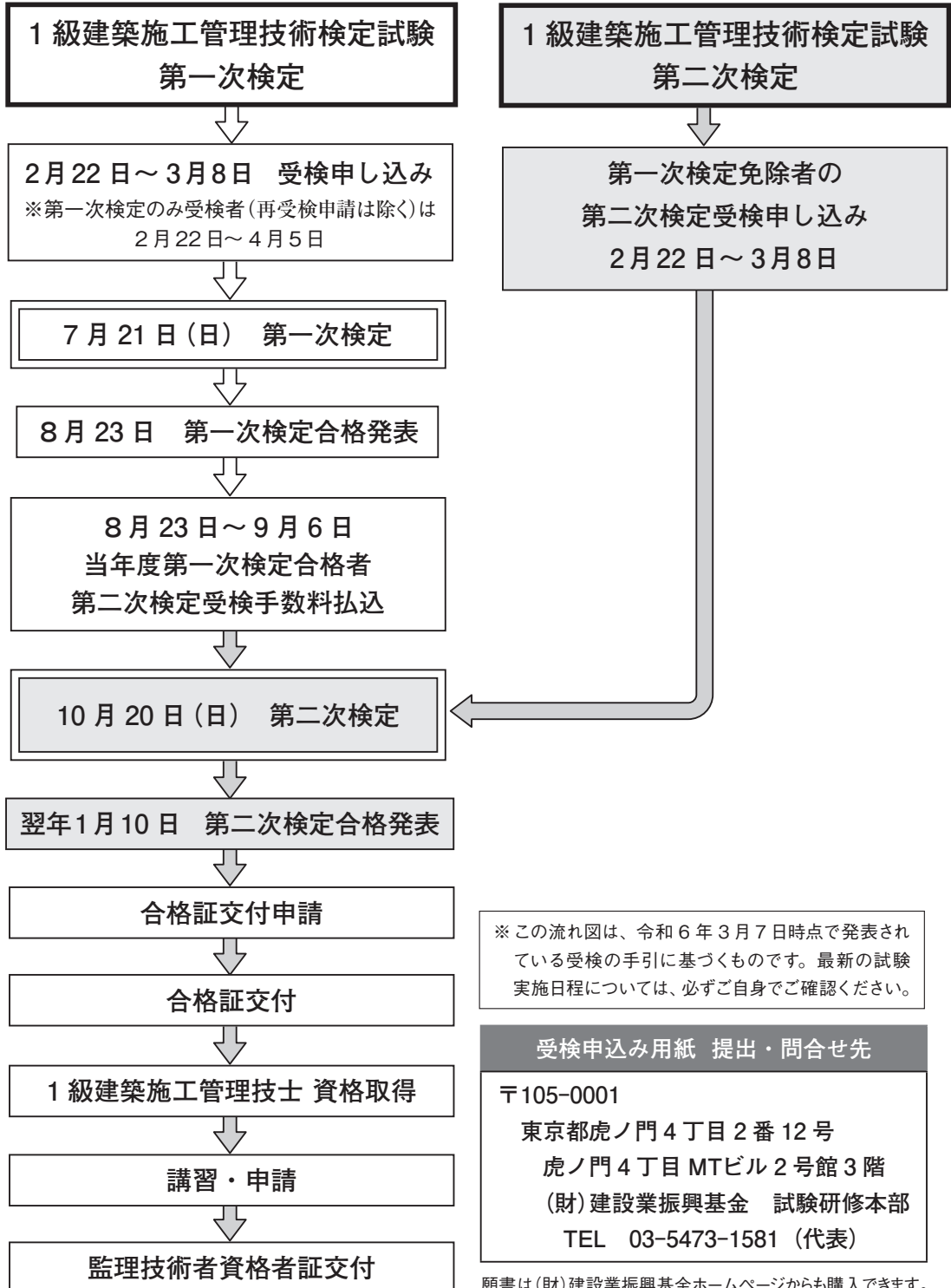


⑤ 受検種別に関する動画が抽出されます。



※ 動画下の YouTube ボタンをクリックすると、大きな画面で視聴できます。

# 1級建築施工管理技術検定試験 受検ガイダンス



## 1 1級建築施工管理技術検定試験第二次検定の概要

### (1) 試験日

令和6年10月20日(日曜日)

### (2) 試験の時間割

入室時刻 : 12時30分まで

検定問題の配付と説明 : 12時45分～13時00分

第二次検定の試験時間 : 13時00分～16時00分(3時間)

### (3) 試験地

札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・沖縄の10都市が予定されています。

### (4) 試験の内容

1級建築施工管理技術検定試験第二次検定では、施工管理法に関して、受検者が下記に掲げる知識と能力を有していることを確かめるため、五肢一択および記述式による筆記試験が行われます。

- ① 監理技術者として、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。  
(五肢択一のマークシート方式)
- ② 監理技術者として、建築材料の強度等を正確に把握し、工事の目的物に所要の強度・外観等を得るために必要な措置を、適切に行うことができる応用能力を有すること。(記述式)
- ③ 監理技術者として、設計図書に基づいて、工事現場における施工計画を適切に作成し、施工図を適正に作成することができる応用能力を有すること。(記述式)

### (5) 合格基準

第二次検定についての得点が60%以上であることが合格基準であるとされていますが、試験の実施状況等に応じて変更される可能性があります。ただし、**問題1**の施工経験記述に明らかな誤り(工事概要に空欄がある、架空の工事を記述したなど)があった場合は、第二次検定についての得点に関係なく不合格となります。

### (6) 合格率

1級建築施工管理技術検定試験第二次検定や実地試験(第二次検定の旧称)の合格率は、概ね4割～5割であったので、比較的難易度の高い国家試験であるといえます。

※このページの内容は、令和6年3月7日時点で発表されている受検の手引に基づくものです。

## 2 1級建築施工管理技術検定試験第二次検定の出題内容

令和6年度の1級建築施工管理技術検定試験第二次検定の出題内容は、令和3年4月に改正された施工技術検定規則(建設業法施行令に基づく法律)および令和5年度～令和3年度の第二次検定の出題形式から分析すると、下表の「偶数年度」に近いものになることが予想されている。(出題形式は奇数年度と偶数年度では多少異なっている)

1級建築施工管理技士の資格は、「監理技術者」になるために必要なものであることから、建築一式工事のうち、7000万円以上(令和4年12月31日以前の工事については6000万円以上)の下請契約をして行われる工事の規模を想定した問題が出題されている。また、そうした立場での解答とすることが望ましい。

第二次検定の出題形式(予想)

問題	年度	出題分野	予想配点	出題項目の例	解答形式
問題1	共通	施工経験記述	32点*	施工の合理化・品質管理・建設副産物	記述式
問題2	共通	施工計画	12点	仮設計画の留意点・災害防止対策	記述式
問題3	共通	施工管理	12点	ネットワークの読解・先行後続作業	記述式
問題4	奇数	躯体工事	16点	躯体工事の施工上の留意事項を記述	記述式
	偶数	仕上げ工事		仕上げ工事の施工上の留意事項を記述	
問題5	奇数	仕上げ工事	16点	仕上げ工事の語句を選択または修正	五肢択一式
	偶数	躯体工事		躯体工事の語句を選択または修正	
問題6	共通	建築法規	12点	建設業法・建築基準法・労働安全衛生法	五肢択一式

※問題1の解答が無記載等の場合、問題2以降は採点の対象になりません。

### 問題1 (施工経験記述：予想配点32点)

施工経験記述の問題は、次の3項目から出題されることが多い。近年の施工管理技術検定試験では、前年度と同じ項目から出題されることも多かったため、確実に合格するためには、この3項目すべてについて、施工経験記述を準備しておく必要がある。

- ① 工程管理(施工の合理化・生産性の向上・工程短縮・現場作業の軽減・労働者の確保等)
- ② 品質管理(顧客の要望を満たす品質確保・品質管理項目・品質管理活動等)
- ③ 建設副産物の具体的な対策(抑制・再使用・再生利用・適正処分等)

あなたの経験した建築工事について、出題された①～③のいずれかの課題についての質問に対して、あなたが経験した工事の概要を記述し、工事の課題解決をした施工経験を記述式で解答する。そのため、経験した工事に関する文章の末尾は過去形(……した)で記入する。

### 問題2 (施工計画：予想配点12点)

施工計画の問題は、次の3項目から出題されることが多い。令和6年度の試験では、下記の③の項目に関する問題が、記述式で出題される可能性が比較的高いと思われる。ただし、下記の②の項目に関する問題が、記述式で出題される可能性もあると思われる。

- ① 仮設物の設置計画の留意点
- ② 労働災害防止対策に関する留意点
- ③ 仮設物使用中の安全点検・確認の留意点



**問題3** (施工管理：予想配点 12 点)

施工管理の問題は、平成 28 年度まではバーチャート工程表からの出題であったが、平成 29 年度以降はネットワーク工程表からの出題となっている。令和 6 年度の試験でも、ネットワーク工程表の読解に関する問題が、記述式で出題されると思われる。ネットワーク工程表からの出題では、次のようなことが問われていると考えられる。

- ① 躯体・仕上げの作業について、日程・先行作業・後続作業などから作業名を推定する。
- ② 工程短縮または労働力不足による単列作業・並列作業の変更について、工程への影響を把握する。
- ③ 各作業のフリーフロートや、建設工事の総所要日数を求める。

**問題4** または **問題5** (躯体工事：予想配点 16 点)

躯体工事の問題は、次の 2 項目から隔年ごとに①または②の形式で出題されることが多い。令和 6 年度の試験では、下記の②の出題形式となる可能性が比較的高いと思われる。

- ① 躯体工事の施工上の留意点(4 工種)について、具体的な記述として解答する。(記述式)
- ② 躯体工事の施工上の留意点(8 工種)について、文章中の空欄に当てはまる語句又は数値の組合せを解答するか、文章中にある不適当な語句又は数値を選択し、適当な語句又は数値を解答する。(五肢択一式)

※②の項目の解答形式は、令和 2 年度以前の実地試験(第二次検定の旧称)では記述式(不適当な箇所を選択して適当な語句又は数値を記述する形式)であったが、令和 3 年度の第二次検定では五肢択一式(不適当な箇所と適当な語句又は数値の組合せを選択する形式)に、令和 4 年度以降の第二次検定では五肢択一式(空欄に当てはまる語句又は数値の組合せを選択する形式)に変更されている。

**問題4** または **問題5** (仕上げ工事：予想配点 16 点)

仕上げ工事の問題は、次の 2 項目から隔年ごとに①または②の形式で出題されることが多い。令和 6 年度の試験では、下記の①の出題形式となる可能性が比較的高いと思われる。

- ① 仕上げ工事の施工上の留意点(4 工種)について、具体的な記述として解答する。(記述式)
- ② 仕上げ工事の施工上の留意点(8 工種)について、文章中の空欄に当てはまる語句又は数値の組合せを解答するか、文章中にある不適当な語句又は数値を選択し、適当な語句又は数値を解答する。(五肢択一式)

※②の項目の解答形式は、令和 2 年度以前の実地試験(第二次検定の旧称)では記述式(不適当な箇所を選択して適当な語句又は数値を記述する形式)であったが、令和 3 年度の第二次検定では五肢択一式(不適当な箇所と適当な語句又は数値の組合せを選択する形式)に、令和 4 年度以降の第二次検定では五肢択一式(空欄に当てはまる語句又は数値の組合せを選択する形式)に変更されている。

**問題6** (建築法規：予想配点 12 点)

建築法規の問題は、次の 3 つの法律に書かれている条文について、空欄に当てはまる正しい語句又は数値を選択する形式として出題される。

- ① 建設業法(請負契約・元請負人の義務・主任技術者の職務などに関する条文)
- ② 建築基準法(施行令で定められている工事現場の危害防止などに関する条文)
- ③ 労働安全衛生法(目的・元方事業者の責務・安全衛生教育などに関する条文)

※建築法規の解答形式は、令和 2 年度以前の実地試験(第二次検定の旧称)では記述式(空欄に当てはまる語句又は数値を記述する形式)であったが、令和 3 年度以降の第二次検定では五肢択一式(空欄に当てはまる正しい語句又は数値を選択する形式)に変更されている。

## 受検ガイドンス&学び方講習 - 5

### 1 級建築施工管理技術検定試験第二次検定の評価基準(推定例)

問題	分野	設問	摘要	配点			
問題 1	工事概要	イ. 工事名	不合格要件：空欄・建築工事でない	1	8		
		ロ. 工事場所	不合格要件：空欄	1			
		ハ. 工事の内容	不合格要件：空欄・工事例の工種不記載	3			
		ニ. 工期等	不合格要件：空欄・工事規模に不適合	1			
		ホ. 立場	不合格要件：空欄・誤字・脱字	1			
		ハ. 業務内容	不合格要件：空欄・管理業務に不適合	1			
	施工経験記述	工事概要であげた工事の施工管理の事例	[工事例①] 工程管理 品質管理 建設副産物	①工種名・部位・項目	1	18	
				②実施内容・目標・管理項目	2		
				③実施内容・予測内容・留意事項・理由	3		
				④実施内容・確認方法・副次効果・評価	3		
			※この項目の摘要は年度ごとに異なる。				
			[工事例②] 工程管理 品質管理 建設副産物	①工種名・部位・項目	1		
		②実施内容・目標・管理項目		2			
		③実施内容・予測内容・留意事項・理由		3			
		④実施内容・確認方法・副次効果・評価		3			
		※この項目の摘要は年度ごとに異なる。					
		施工管理の方法	コスト削減 品質管理活動 廃棄物処理	①施工管理の手段・方法	3		6
				②施工管理の評価	3		
※この項目の摘要は年度ごとに異なる。							
問題 2	施工計画	仮設物の設置 仮設物の安全 労働災害防止	語句 1：留意事項・検討・対策を記述	4	12		
			語句 2：留意事項・検討・対策を記述	4			
			語句 3：留意事項・検討・対策を記述	4			
問題 3	施工管理	ネットワーク 工程表の読解	設問 1：作業内容	3	12		
			設問 2：作業名・フリーフロート	3			
			設問 3：作業日数・総所要日数	3			
			設問 4：必要人数・作業順序・作業遅延	3			
			※この項目の摘要は年度ごとに異なる。				
問題 4 または 問題 5	躯体工事	仮設・土・杭	工事 1：留意事項を具体的に記述	4	16		
		鉄筋・型枠	工事 2：留意事項を具体的に記述	4			
		コンクリート	工事 3：留意事項を具体的に記述	4			
		鉄骨	工事 4：留意事項を具体的に記述	4			
		※項目は年度ごとに異なる。 ※偶数年度の試験では仕上げ工事の摘要と入れ替わる。					
問題 4 または 問題 5	仕上げ工事	防水・屋根	記述 1：3つの空欄の語句(五肢択一)	2	16		
			記述 2：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
		左官・塗装	記述 3：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
			記述 4：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
		金属・タイル	記述 5：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
			記述 6：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
		内装・建具	記述 7：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
			記述 8：3つの空欄の語句(五肢択一)	2			
※項目は年度ごとに異なる。 ※偶数年度の試験では躯体工事の摘要と入れ替わる。							
問題 6	建築法規	建設業法	条文 1：2つの空欄の語句(五肢択一)	4	12		
		建築基準法	条文 2：2つの空欄の語句(五肢択一)	4			
		労働安全衛生法	条文 3：2つの空欄の語句(五肢択一)	4			
合計(合格基準：60点以上かつ「不合格要件」に該当しない)				100			

### 3 初学者向けの標準的な学習手順

※この勉強法は、初めて第二次検定を受ける方に向けたものです。これまでに1級建築施工管理技術検定試験第二次検定や実地試験(第二次検定の旧称)を受けたことがあるなど、既に自らの勉強法が定まっている方は、その方法を踏襲してください。しかし、この勉強法は本当に効率的なので、勉強法が定まっていない方は、活用することをお勧めします。

本書では、第二次検定を5日間の集中学習で完全攻略することを目標にしています。各学習日の学習時間は、5時間を想定しているので、長期休暇を利用して一気に学習することを推奨しますが、毎週末に少しずつ学習することもできます。

この学習手順は、第二次検定を初めて受検する方が、最短の学習時間で合格できるように構築されています。より詳しい学習手順については、「受検ガイド＆学び方講習」のYouTube動画講習を参照してください。なお、この学習手順は、合格するために必要となる最小限の内容になっています。学習時間に余裕のある受検者は、自らの学習計画に合わせて、学習範囲を更に広げてゆくことも検討してください。

#### 1日目 の学習手順(最新問題の重要ポイントを把握します)

- ① 本書14ページに掲載されている「最新問題の一括要約リスト」を熟読してください。
- ② ネットワーク計算の解き方講習(YouTube動画講習)を視聴してください。

#### 2日目 の学習手順(躯体工事・仕上げ工事を分野別に集中学習します)

- ① 「虎の巻」解説講習(YouTube動画講習)の**問題4**・**問題5**を視聴してください。
- ② 虎の巻(精選模試)第一巻及び第二巻の**問題4**・**問題5**を学習してください。
- ③ 本書の第4章「躯体工事」・第5章「仕上げ工事」を学習してください。

#### 3日目 の学習手順(施工計画・施工管理・建築法規を分野別に集中学習します)

- ① 「虎の巻」解説講習(YouTube動画講習)の**問題2**・**問題3**・**問題6**を視聴してください。
- ② 虎の巻(精選模試)第一巻及び第二巻の**問題2**・**問題3**・**問題6**を学習してください。
- ③ 本書の第2章「施工計画」・第3章「施工管理」・第6章「建築法規」を学習してください。

#### 4日目 の学習手順(施工経験記述の工事概要を記述し、施工経験のストーリーを考えます)

- ① 施工経験記述の考え方・書き方講習(YouTube動画講習)を視聴してください。
- ② 本書611ページの施工経験記述記入用紙をコピーし、工事概要を書き込んでください。
- ③ 工程管理・建設副産物・品質管理の施工経験について、ストーリーを作成してください。

#### 5日目 の学習手順(工程管理・建設副産物・品質管理の施工経験記述を実際に書いてみます)

- ① 本書611ページ・613ページ・615ページの施工経験記述記入用紙をコピーしてください。
- ② 工程管理・建設副産物・品質管理の3つのテーマについて、施工経験を書き込んでください。

※施工経験記述添削講座(有料)の受講をご希望の方は、本書の606ページをご覧ください。

## 4 学習手順の補足

- ①この学習手順では、5日間のうち、**問題1**の施工経験記述には2日間を費やしています。毎年度の試験の傾向から見ると、**問題1**で不合格と判定された場合、**問題2**以降は採点されないおそれがあるからです。**問題1**の施工経験記述は、それだけ重要なのです。
- ②2日目の学習手順では、**問題4**(躯体工事分野)の「動画講習視聴→虎の巻学習→本編学習」を行ってから、**問題5**(仕上げ工事分野)の「動画講習視聴→虎の巻学習→本編学習」を行うと、分野別に学習を進めることができるので、より効果的です。3日目の学習手順についても同様です。
- ③2日目と3日目の学習手順では、「虎の巻」解説講習(YouTube 動画講習)を見てから、虎の巻(精選模試)を学習することになってはいますが、この方法では、虎の巻(精選模試)を自らの力だけで解いてみる前に、その答えが分かっけてしまいます。これを避けたいと思う方は、動画を見る前に、自らの力だけで虎の巻(精選模試)に挑戦してみるという学習方法も考えられます。こちらの方法は、何度か第二次検定や実地試験(第二次検定の旧称)を受けたことがあるなど、既に学習経験のある方にお勧めです。

## 5 最新問題の一括要約リスト(完全合格のための学習法)

本書の14ページ～23ページでは、平成26年度以降に出題された施工計画分野・躯体工事分野・仕上げ工事分野・建築法規分野の全問題について、その要点を集約しています。これを数回通読すると、学習をより確かなものにすることができます。1日目の学習手順でもある最新問題の一括要約リスト(完全合格のための学習法)は、YouTube 動画講習としても提供しているため、手元にスマートフォンなどがあれば、ちょっとした隙間時間(通勤電車の中や休憩時間など)にも、過去10年間の出題内容をまとめて効率よく学習を進めてゆくことができます。

## 6 超特急コースの学習手順

この学習手順は、5日間の学習時間を取ることができない受検者のために、標準的な学習手順を更に短縮したものです。この学習手順では、本書の「最新問題の一括要約リスト」と重要度の高い「虎の巻(精選模試)」に絞り込んで学習を進めていきます。

### 1日目の学習手順(施工経験記述を1日で学習します)

本書の569ページに掲載されている虎の巻(精選模試)施工経験記述編を学習してください。

### 2日目の学習手順(最新問題の重要ポイントを把握します)

本書の14ページに掲載されている「最新問題の一括要約リスト」を学習してください。

### 3日目の学習手順(最も重要度の高い問題だけを学習します)

本書の579ページに掲載されている虎の巻(精選模試)第一巻を学習してください。

7 「無料 YouTube 動画講習」の活用

本書の学習と併せて、無料 YouTube 動画講習を視聴すると、理解力を高めることができます。是非ご活用ください。本書は、書籍と動画講習の2本柱で学習を行えるようになっています。

GET 研究所の動画サポートシステム

書籍	無料 YouTube 動画講習 
受検ガイダンス	受検ガイダンス&学び方講習 無料 YouTube 動画講習
最新問題の一括要約リスト	完全合格のための学習法 無料 YouTube 動画講習
施工経験記述	施工経験記述の考え方・書き方講習 無料 YouTube 動画講習
施工計画 施工管理 躯体工事 仕上げ工事 建築法規	ネットワーク計算の解き方講習 躯体工事の攻略講習 仕上げ工事の攻略講習 無料 YouTube 動画講習
虎の巻(精選模試)	「虎の巻」解説講習 無料 YouTube 動画講習

※この表は、「書籍」に記載されている各学習項目(左欄)に対応する「動画講習」のタイトル(右欄)を示すものです。

無料 YouTube 動画講習は、GET 研究所ホームページから視聴できます。

<https://get-ken.jp/>



# 最新問題の一括要約リスト

## 1 級建築施工管理技術検定試験第二次検定 完全合格のための学習法

この学習法で一発合格を手にしよう!

**問題 1** (施工経験記述)については、本書を読み込み、「施工経験記述の考え方・書き方講習」の無料動画を視聴した後、自身が記述する予定の建築工事の契約書などを収集し、その収集した資料に基づき、工程管理・品質管理・建設副産物の3つの出題分野について、自身の工事経験を書いてみることで、事前に解答を準備することができるため、比較的合格点を獲得しやすい分野となっている。

**問題 3** (施工管理)については、本書を読み込み、「ネットワーク計算の解き方講習」の無料動画を視聴することで、解答に必要となる「タイムスケール」の考え方を身につけることができるようになっている。

**問題 2** (施工計画)・**問題 4** (躯体工事)・**問題 5** (仕上げ工事)・**問題 6** (建築法規)の4つの問題については、過去の試験から繰り返して出題されている問題が多く、一見すると簡単に思えるかもしれない。しかし、法律や基準書などに書かれている用語や数値について、似たような用語や数値の中から正確に選択したり、工事の施工方法や留意事項などについて、要約して具体的に記述したりすることは、意外と難しいことである。これらの問題で合格点を獲得するためには、過去に出題された問題について、その要点をまとめることが重要となる。

本書では、「最新問題の一括要約リスト」として、過去10年間に出版された施工計画分野・躯体工事分野・仕上げ工事分野・建築法規分野の全問題について、その解答の要点を分野別にまとめている。また、平成29年度以降の施工管理分野についても、その出題の要点をまとめている。この「最新問題の一括要約リスト」を手元に置き、「完全合格のための学習法」の無料動画を視聴することで、「要点のまとめ」の学習を、短期間で確実に完了させることができる。

※「最新問題の一括要約リスト」に記載されている問題番号は、令和3年度以降(奇数年度)の第二次検定に基づくものです。令和3年度以降(偶数年度)の第二次検定および令和2年度以前の実地試験(第二次検定の旧称)では、下表のように、問題番号の割り振りが異なります。

問題番号の割り振り	施工計画	施工管理	躯体工事	仕上げ工事	建築法規
令和3年度以降(奇数年度)の第二次検定	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6
令和3年度以降(偶数年度)の第二次検定	問題 2	問題 3	問題 5	問題 4	問題 6
令和2年度以前の実地試験	問題 2	問題 5	問題 3	問題 4	問題 6

※本年度(令和6年度)の試験は、奇数年度ではなく偶数年度に該当しますが、躯体工事の前に仕上げ工事を配置するのは不自然である(仕上げ工事は躯体工事の後に行われる)ため、本書では奇数年度の順序で採録しています。



← スマホ版無料動画コーナー QRコード

URL <https://get-supertext.com/>

(注意) スマートフォンでの長時間聴講は、Wi-Fi環境が整ったエリアで行いましょう。

「完全合格のための学習法」の動画講習を、GET 研究所ホームページから視聴できます。

<https://get-ken.jp/>



1 級建築施工管理技術検定試験第二次検定 最新問題の一括要約リスト

※ここに書かれている内容は、解答の要点をできる限り短縮してまとめたものなので、一部の表現が必ずしも正確ではない可能性（前提条件や例外規定を省略しているなど）があります。詳細な解説については、必要に応じて本書の当該年度の最新問題解説を参照してください。

**問題 2 施工計画(仮設物の設置計画)**

分野	年	出題の要点	解答の要点
仮設物の設置計画	R5	①くさび緊結式足場 ②建設用リフト ③場内仮設道路	①支柱の間隔(桁行・梁間)、壁つなぎ間隔(垂直・水平) ②巻上ワイヤロープの標識と警報装置、立入禁止措置 ③労働者と車両の交差防止、車両の幅と重量の考慮
	R3	①仮設ゴンドラ ②場内仮設事務所 ③工事ゲート(車両出入口)	①立入禁止柵の設置、充電回路の感電防止措置 ②施工者用と監理者用の分離、使用水量の確保 ③空荷時の生コン車の高さ、門扉の上部の網張り
	R元	①荷受け構台 ②鋼板製仮囲い ③工用エレベーター	①材料の取込みができる位置、階段や動線の配置 ②高さを1.8m以上とする、強風に対する安全確保 ③資材搬入動線に接する位置、積載荷重の表示
	H29	①吊り足場 ②起伏式タワークレーン ③仮設ゴンドラ	①足場下面への防網設置、最大荷重の表示 ②クレーンの水平設置、過負荷防止装置の確認 ③立入禁止柵の設置、検査証と制動装置の確認
	H27	①外部枠組足場 ②仮設電力設備 ③荷受け構台	①道路側に防護柵を設置、壁つなぎの適法設置 ②引込みが容易な位置、仮囲いに沿って配線 ③2～3階ごとに1段、工程に合わせて転用

**問題 2 施工計画(仮設備の安全点検)**

※令和6年度の第二次検定の**問題 2**は、この出題形式または下記(労働災害防止対策)の出題形式になると考えられます。

分野	年	出題の要点	解答の要点
仮設備の安全点検	R2	①外部枠組足場 ②コンクリートポンプ車 ③建設用リフト	①交差筋交いと棧、床材は2以上の支持物に取付け ②立入禁止措置、輸送管組立ての作業指揮者 ③労働者を乗せない、事業者が合図を定める
	H28	①長尺エレベーター ②高所作業車 ③バックホウ	①出入口の段差解消、昇降速度は10m/分未満 ②作業指揮者による指揮、障害物の撤去 ③バケットの安全な旋回方向、立入禁止措置

**問題 2 施工計画(労働災害防止対策)**

※令和6年度の第二次検定の**問題 2**は、この出題形式または上記(仮設備の安全点検)の出題形式になると考えられます。

分野	年	出題の要点	解答の要点
労働災害防止対策	R4	①墜落・転落 ②崩壊・倒壊 ③移動式クレーン	①歩み板の幅30cm以上、脚立の角度75度以下 ②地山の亀裂・湧水の確認、鋼橋架設の控え・補強材 ③アウトリガーの張出し、高圧線との離隔1.2m以上
	H30	①墜落・転落 ②電気 ③車両系建設機械	①足場と防網の設置、脚立の角度は75度以下 ②通路上の配線の被覆、絶縁用防護具の装着 ③誘導者の配置、離席時は作業装置を下ろす
	H26	①墜落 ②崩壊・倒壊 ③重機関連	①作業床と防網の設置、悪天候時の作業中止 ②十分な根入れ深さ、ベース金具に建地を固定 ③立入禁止柵の設置、アウトリガーの張出し

### 完全合格のための学習法 - 3

#### 問題 4 躯体工事(適切な語句を選択または誤りの語句を訂正する出題形式) (8問)

※令和6年度の第二次検定の **問題 4** は、この出題形式になると考えられます。

分野	年	問	答	出題の要点	解答の要点
仮設工事	R 2	1	①	吊り足場	吊りワイヤロープ・吊り鋼線の安全係数は <b>10</b> 以上とする。
	H28	1	②	クレーン	<b>タワー式</b> のクレーンは、建物に接近して作業ができる。
	H26	1	③	機械間の通路幅	機械間の通路幅は、 <b>80cm</b> 以上とする。
地業工事	R 4	1	②	平板載荷試験	直径 <b>30cm</b> 以上の円板に荷重を与え、 <b>沈下量</b> を測定することで、直径の <b>2.0</b> 倍程度の深さの支持力を求める。
	H30	1	①	平板載荷試験	礫の最大直径は、載荷板直径の <b>1/5</b> 程度とする。
土工事	R 4	2	③	根切り工事	床付け面は、 <b>平状</b> の刃で掘削し、砂質土なら <b>転圧</b> する。杭間を掘り過ぎると、杭の <b>水平抵抗力</b> に悪影響を与える。
	R 2	2	③	地下水処理工法	帯水層が深いか砂礫なら、 <b>ディープウェル</b> 工法とする。
	H30	2	③	根切り工事	被圧地下水で掘削底面が持ち上がる <b>盤ぶくれ</b> 現象。
	H28	2	①	床付け面仕上げ	床付け面を乱さないよう、 <b>ショベル</b> の刃を <b>平状</b> にする。
	H26	2	③	根切り工事	被圧地下水で掘削底面が持ち上がる <b>盤ぶくれ</b> 現象。
杭工事	R 4	3	①	オールケーシング	地表面下 <b>10m</b> までの圧入精度に注意し、掘削は <b>ハンマーグラブ</b> で、一次スライム処理は <b>沈殿バケット</b> で行う。
	R 2	3	②	杭の埋込み工法	杭心ずれ量は「杭直径÷4」以下かつ <b>100mm</b> 以下とする。
	H30	3	①	場所打ち杭地業	オールケーシング工法では <b>ケーシングチューブ</b> を使う。
	H28	3	①	アースドリル	アースドリル機の <b>ケリーバー</b> の中心を杭心に合わせる。
	H26	3	①	場所打ち杭地業	オールケーシング工法では <b>ハンマーグラブ</b> で掘削する。
鉄筋工事	R 4	4	③	手動ガス圧接	圧接端面間の隙間は <b>2mm</b> 以下とし、還元炎で加熱した後、鉄筋径の <b>2</b> 倍程度の範囲を <b>中性炎</b> で加熱する。
	R 2	4	①	鉄筋相互の空き	鉄筋相互の空きは、最低でも <b>25mm</b> 以上とする。
	H30	4	③	圧接技量資格	手動ガス圧接 1 種では、 <b>D25</b> 以下の異形鉄筋を扱える。
	H30	5	①	圧接継手の修正	膨らみの不足を修正するときは、再加熱して <b>加圧</b> する。
	H28	4	①	圧接部の膨らみ	膨らみの直径は、主鉄筋径の <b>1.4</b> 倍以上とする。
	H26	4	③	圧接技量資格	手動ガス圧接 1 種では、 <b>D25</b> 以下の異形鉄筋を扱える。
型枠工事	R 4	5	⑤	最大側圧の大小	ヘッドが <b>大きく</b> 、摩擦係数が <b>小さい</b> と、側圧は大となる。せき板の透水性・漏水性が <b>大きい</b> と、側圧は小となる。
	R 4	6	①	丸セパレーター	傾きが大きいと <b>破断強度</b> が低下する。締め過ぎるとせき板が <b>内側</b> に変形するため、内端太とボルトを <b>近接</b> させる。
	R 2	5	②	型枠支保工	鋼管枠支柱の脚部を固定し、 <b>根がらみ</b> を取り付ける。
	H30	6	③	丸セパレーター	締付け過ぎがないよう、内端太とボルトを <b>近づける</b> 。
	H28	5	③	型枠の側圧	型枠表面の摩擦係数が <b>小さい</b> ほど、側圧は大きくなる。
	H26	7	③	丸セパレーター	内端太と締付けボルトを <b>近接</b> させて締め付ける。



# 1.2

## 施工経験記述 最新問題解説

### 令和5年度 問題1 施工経験記述

**問題1**

建築工事の施工者は、発注者の要求等を把握し、施工技術力等を駆使して品質管理を適確に行うことが求められる。

あなたが経験した建築工事のうち、要求された品質を満足させるため、品質計画に基づき品質管理を行った工事を1つ選び、工事概要を具体的に記入した上で、次の1.及び2.の問いに答えなさい。

なお、建築工事とは、建築基準法に定める建築物に係る工事とし、建築設備工事を除くものとする。

[工事概要]

イ. 工事名

ロ. 工事場所

ハ. 工事の内容  
 (新築等の場合：建物用途、構造、階数、延べ面積又は施工数量、  
 主な外部仕上げ、主要室の内部仕上げ)

ニ. 工期等  
 (工期又は工事に従事した期間を年号又は西暦で年月まで記入)

ホ. あなたの立場

ヘ. あなたの業務内容

1. 工事概要であげた工事で、あなたが現場で重点的に品質管理を行った事例を3つあげ、それぞれの事例について、次の①から③を具体的に記述しなさい。

ただし、3つの事例の①は同じものでもよいが、②及び③はそれぞれ異なる内容を記述するものとする。

- ① 工種名又は作業名等
- ② 施工に当たって設定した品質管理項目及びそれを設定した理由
- ③ ②の品質管理項目について実施した内容及びその確認方法又は検査方法

2. 工事概要であげた工事に係わらず、あなたの今日までの建築工事の経験を踏まえて、次の①及び②を具体的に記述しなさい。

ただし、1.の③と同じ内容の記述は不可とする。

- ① 品質管理を適確に行うための作業所における組織的な取組
- ② ①の取組によって得られる良い効果

令和3年度以降の試験問題では、ふりがなが付記されるようになりました。

本テキストに示す解答例はすべて、考え方を示すもので、その要点だけを記述したものである。実際には解答用紙のスペース(行数等)に応じた字数で記述すること。

令和5年度 問題1 施工経験記述

解答例 ①

〔工事概要〕

(建築工事について記述する場合／基礎的な事項を重視)

イ	工事名	伏見柳駅前再開発事業レーベントゥルム建設工事
ロ	工事場所	東京都練馬区西伏見町3丁目1番地
ハ	工事の内容	UR賃貸住宅、鉄骨鉄筋コンクリート造、地上14階、地下1階、延床面積10566m <sup>2</sup> 、外壁：陶磁器質タイル張り、内装：軽量鉄骨下地・石膏ボード張り、床面：フローリング
ニ	工期等	令和2年7月～令和4年6月
ホ	あなたの立場	現場代理人
ヘ	あなたの業務内容	建築工事に係る施工管理

問い1. あなたが現場で重点的に品質管理を行った事例

事例1	①	工種名(作業名)	鉄骨工事(鉄骨梁に頭付キスタッドを溶接する作業)
	②	品質管理項目	溶接した頭付キスタッドのカラー(余盛)の状態
		その品質管理項目を設定した理由	鉄骨梁と床スラブを接合する頭付キスタッドは、カラーが不適切であると溶接部で傾いてしまい、強度が不足するから。
	③	品質管理項目について実施した内容	すべてのスタッドについて、カラーが軸全周に形成されているかを外観検査で確認し、カラーが不適切なスタッドを発見した。
		品質管理項目の確認方法・検査方法	カラーが軸全周に形成されていないスタッドは、打撃して15度まで曲げ、溶接部に割れなどの欠陥が生じないことを確認した。
事例2	①	工種名(作業名)	タイル工事(陶磁器質タイルのセメントモルタル張りの作業)
	②	品質管理項目	壁面に張り付けた陶磁器質タイルの引張強度
		その品質管理項目を設定した理由	引張強度が十分でないと、地震などが起きたときにタイルが剥落し、近くにいた人を死傷させるなどの重大事故に繋がるから。
	③	品質管理項目について実施した内容	タイル張り施工後、2週間が経過してから、試験体となるタイルの目地をコンクリート面まで切断し、引張接着力試験を行った。
		品質管理項目の確認方法・検査方法	試験体に0.4N/mm <sup>2</sup> 以上の引張力をかけてもタイルが剥がれず、下地の接着界面の破壊率が50%以下であることを確認した。
事例3	①	工種名(作業名)	金属工事(平天井となる軽量鉄骨天井下地の施工作業)
	②	品質管理項目	適切なむくり(天井下地の中央部を吊り上げる)の確保
		その品質管理項目を設定した理由	平天井は、目の錯覚で天井面が下がって見えることがあるため、天井下地の中央部を基準高さよりも吊り上げる必要があるから。
	③	品質管理項目について実施した内容	むくりの量は、室内張りのスパン(天井を支える柱の相互距離)に対して、1000分の1から500分の1程度となるように設定した。
		品質管理項目の確認方法・検査方法	巻尺を垂直に立てて天井高さを測定し、例としてスパンが4mの室では、室中央が四隅よりも4mm～8mm高いことを確認した。

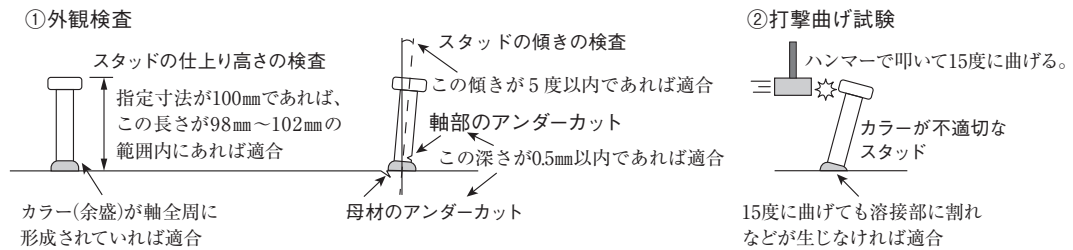
**問い 2. 品質管理を適確に行うための作業所における組織的な取組とその派生効果**

①	品質管理のための作業所での組織的な取組	工事監理者・施工管理者・専門工事業者の役割分担を記した施工品質管理表を作成し、管理値を外れた場合の処置などを定める。
②	その取組によって得られる良い効果	品質管理の手順が統一されて、建物の品質の均一性が向上する。また、品質管理体制を示して、発注者と入居者の信頼を得られる。

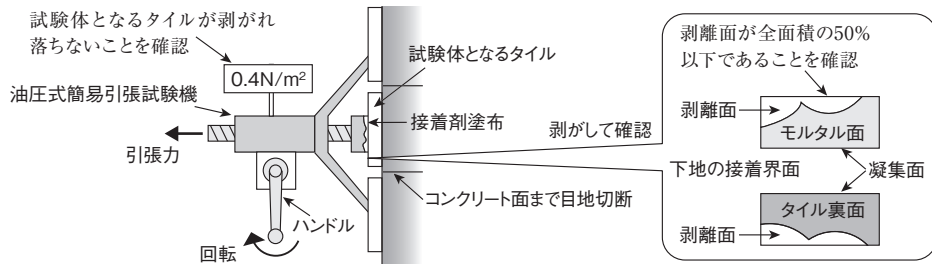
※この解答例は、建築工事(躯体工事および仕上げ工事を総合的に実施した工事)の品質管理のうち、品質計画に基づく基礎的な事項を重視し、各項目の要点をできる限り明確にして(平易な文章であることを心がけて)解答したものです。より専門的な事項を重視した解答例については、次ページ以降を参照してください。

※本書の最新問題解説に掲載されている施工経験記述の解答例は、いずれも工事場所が実存しないなどの架空の建築工事であるため、本試験でそのまま転記すると不合格になります。自らの施工経験記述が合格答案となっているか否かの確認をしたい方は、本書 606 ページの施工経験記述添削講座をご利用ください。

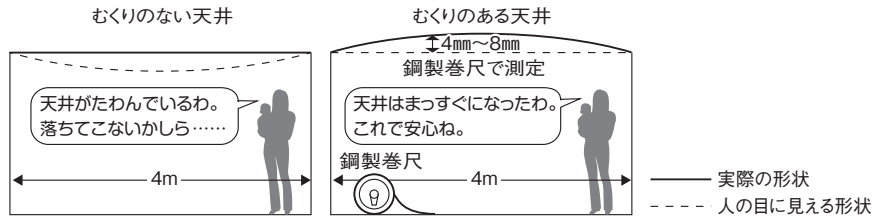
**問い 1. 関連図 [事例 1] スタッド溶接の検査**



**問い 1. 関連図 [事例 2] 陶磁器質タイルの引張接着力試験**



**問い 1. 関連図 [事例 3] 天井のむくり**



**問い 2. 関連図 施工品質管理表 (QC工程表 / Quality Control Chart)**

工程番号	工程記号	記号名称	管理部門	管理項目		管理方法			異常時処置	
				管理特性	管理基準	管理方法	頻度	測定値		規格
18		コンクリート打込作業	工事部	スランプ値	18cm	スランプ試験	午前 午後	16cm ~ 18.5cm	15.5cm ~ 20.5cm	なし
19		養生作業	工事部	養生日数	5日	散水	2回/日	—	湿潤	なし

# 5.2

## 仕上げ工事 最新問題解説

### 令和5年度 問題4 仕上げ工事

**問題5** 次の1. から8. の各記述において、 に当てはまる最も適当な語句又は数値の組合せを、下の枠内から1つ選びなさい。

1. 塩化ビニル樹脂系シート防水の接着工法において、シート相互の接合部は、原則として水上側のシートが水下側のシートの上になるよう張り重ねる。

また、シート相互の接合幅は、幅方向、長手方向とも、最小値  mm とし、シート相互の接合方法は、 と  を併用して接合する。

	a	b	c
①	40	接着剤	液状シール材
②	100	接着剤	テープ状シール材
③	100	溶着剤又は熱風	テープ状シール材
④	40	溶着剤又は熱風	液状シール材
⑤	100	溶着剤又は熱風	液状シール材

2. セメントモルタルによる外壁タイル後張り工法の引張接着強度検査は、施工後2週間以上経過した時点で、油圧式接着力試験機を用いて、引張接着強度と  状況に基づき可否を判定する。

また、下地がモルタル塗りの場合の試験体は、タイルの目地部分を  面まで切断して周囲と絶縁したものとし、試験体の数は  $100\text{m}^2$  以下ごとに1個以上とし、かつ、全面積で  個以上とする。

	a	b	c
①	破壊	下地モルタル	2
②	破壊	コンクリート	2
③	破壊	コンクリート	3
④	打音	コンクリート	3
⑤	打音	下地モルタル	3

## 令和5年度 問題5 仕上げ工事の考え方・解き方

### 記述1. 防水工事：塩化ビニル樹脂系シートの接合部

解答 ④

1. 塩化ビニル樹脂系シート防水の接着工法において、シート相互の接合部は、原則として水上側のシートが水下側のシートの上になるよう張り重ねる。
- また、シート相互の接合幅は、幅方向、長手方向とも、最小値 a mm とし、シート相互の接合方法は、b と c を併用して接合する。

	a	b	c
①	40	接着剤	液状シール材
②	100	接着剤	テープ状シール材
③	100	溶着剤又は熱風	テープ状シール材
④	40	溶着剤又は熱風	液状シール材
⑤	100	溶着剤又は熱風	液状シール材

### 考え方・解き方

#### (1) 塩化ビニル樹脂系シート防水接着工法の概要

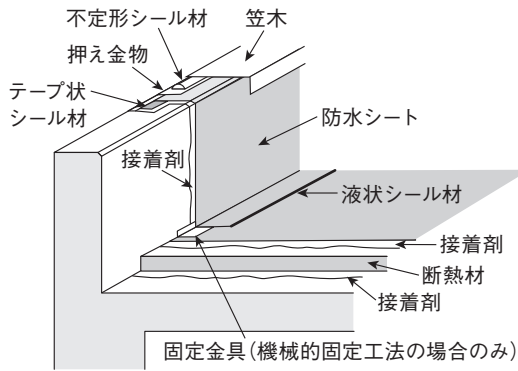
塩化ビニル樹脂系シート防水接着工法は、コンクリート下地・ALC(Autoclaved Lightweight aerated Concrete/ 軽量気泡コンクリート)パネル下地・プレキャストコンクリート下地に、合成高分子系ルーフィングシートを用いて施工する防水工事のうち、固定金具を使用せずにシートを張り付ける工法の一つである。

#### (2) 塩化ビニル樹脂系シートの相互接合部

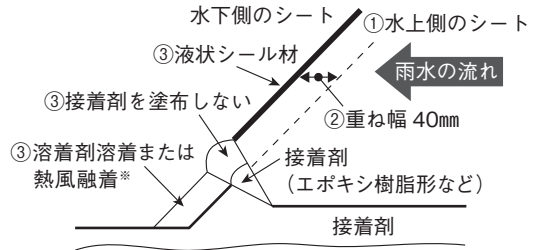
塩化ビニル樹脂系シート防水接着工法では、シートの間隙から水が浸入しないよう、シートを相互に重ね合わせて接合することが重要である。塩化ビニル樹脂系シートを相互に接合するときは、次のような事項に留意しなければならない。

- ① 水上側(雨水が流入する側)のシートが、水下側(雨水が流出する側)のシートの上になるように張り重ねる。  
 ※水下側のシートが上になっていると、相互のシートの隙間から雨水が浸入してしまう。
- ② 塩化ビニル樹脂系シート相互の接合幅は、幅方向(短辺部)・長手方向(長辺部)のどちらにおいても 40mm以上とする。  
 ※シート相互の接合幅を 100mmとするのは、平場部において、塩化ビニル樹脂系シートではなく加硫ゴム系シートを使用する場合の規定である。
- ③ 塩化ビニル樹脂系シート相互の接合は、溶着剤又は熱風と液状シール材を併用して行う。  
 ※接着剤とテープ状シール材を併用するのは、塩化ビニル樹脂系シートではなく加硫ゴム系シートを相互に接合する場合の規定である。

塩化ビニル樹脂系シート防水の施工例

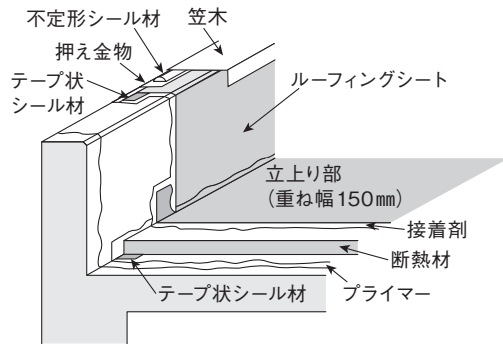


塩化ビニル樹脂系シートの相互接合部

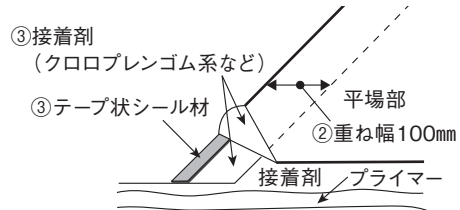


※塩化ビニル樹脂系シートは、双方の接合部を溶着剤または熱風で溶かすと、相互に密着して一体化する。その接合力は、接着剤を使用した時よりも大きい。  
※塩化ビニル樹脂系シートを建築物の躯体に張り付けるときは、接着剤を使用する。

加硫ゴム系シート防水の施工例

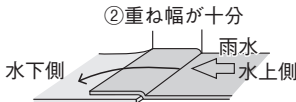


加硫ゴム系シートの相互接合部



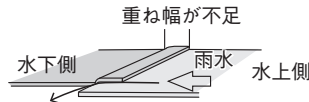
水上側のシートが水下側のシートの上になるように張り重ねる理由

①水上側が上・水下側が下である場合



正 雨水はシートの上を流れる。

水上側が下・水下側が上である場合



誤 雨水は隙間から入り込む。

※図中の①・②・③の表記は、前頁の解説と対応しています。

※防水工事におけるシート類の相互接合については、塩化ビニル樹脂系シートを使用する場合と、加硫ゴム系シートを使用する場合について、その違いを対比して認識することが重要である。

以上(上記②)により、**a**の数値は**最小値 100mm**ではなく**最小値 40mm**である。

以上(上記③)により、**b**の語句は**接着剤**ではなく**溶着剤又は熱風**である。

以上(上記③)により、**c**の語句は**テープ状シール材**ではなく**液状シール材**である。

### (3) 塩化ビニル樹脂系シートの施工における留意事項

塩化ビニル樹脂系シート防水接着工法の施工において、相互接合部以外に関する代表的な留意事項には、次のようなものがある。

- ① 防水層の下地のうち、入隅は通りよく直角とし、出隅は面取りしておく。
- ② 下地が ALC パネルのときは、プライマー(接着力を向上させるための塗材)を塗布する。
- ③ 下地に接着剤を塗った後、オープンタイムを採り(15分～120分放置して)、乾燥させる。
- ④ 入隅角と出隅角には、塩化ビニル樹脂系シートの張付け後に、成形役物を張り付ける。

2. セメントモルタルによる外壁タイル後張り工法の引張接着強度検査は、施工後2週間以上経過した時点で、油圧式接着力試験機を用いて、引張接着強度と **a** 状況に基づき合否を判定する。

また、下地がモルタル塗りの場合の試験体は、タイルの目地部分を **b** 面まで切断して周囲と絶縁したものとし、試験体の数は100m<sup>2</sup>以下ごとに1個以上とし、かつ、全面積で **c** 個以上とする。

	a	b	c
①	破壊	下地モルタル	2
②	破壊	コンクリート	2
③	破壊	コンクリート	3
④	打音	コンクリート	3
⑤	打音	下地モルタル	3

### 考え方・解き方

#### (1) 引張接着強度検査の重要性

タイルを用いる内外装仕上げ工事では、タイル張りが完了した後に、その引張接着強度が十分であるか(所定の力でタイルを引っ張ってもタイルが脱落しないだけの接着力が得られているか)を確認する必要がある。タイルの引張接着強度が低すぎると、地震などが起きたときにタイルが剥落し、近くにいた人を死傷させるなどの重大事故に繋がるからである。

#### (2) 引張接着強度検査の合格基準

外壁タイル後張り工法の引張接着強度検査は、所定の接着強度が発現したことが予想される時期に(一般的にはタイル張りの施工後2週間以上が経過した時点で)、油圧式接着力試験機を用いて行う。この期間が経過する前の時点では、タイルの接着強度が十分に発現していない(本来であれば合格となるタイルが不合格と判定されてしまう)ことがある。

外壁タイル後張り工法の引張接着強度検査では、引張接着強度および破壊状況の判定を行う。セメントモルタルによるタイル張りである場合は、その結果が次の①と②の両方を満たしていれば、そのタイルの引張接着強度は十分になっているので、合格と判定する。

①引張接着強度の判定：引張接着強度が0.4N/mm<sup>2</sup>以上

②破壊状況の判定：コンクリート下地の接着界面における破壊率が50%以下

※打音状況からは、タイルの浮きやひび割れの有無は分かるが、引張接着強度は分からない。以上により、**a**の語句は打音状況ではなく破壊状況である。

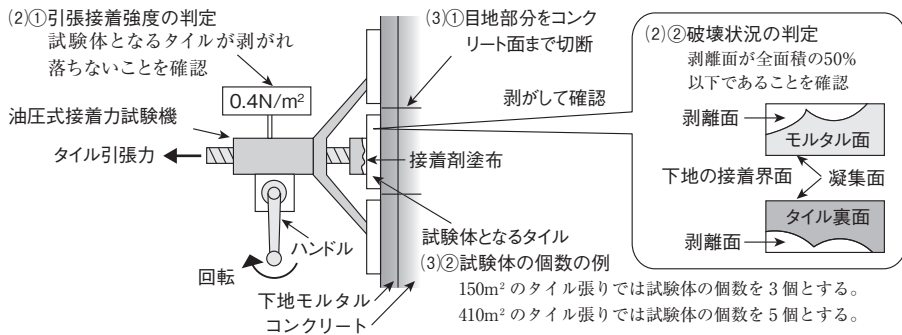
**(3) 引張接着強度検査の対象となる試験体**

外壁タイル後張り工法の引張接着強度検査の対象となる試験体のタイルは、その下地がモルタル塗りである場合、次の条件を満たしたものでなければならない。

- ① 試験体は、目地部分をコンクリート面まで切断して周囲と絶縁したものとする。  
※目地の切断が下地モルタル面までだと、絶縁が不十分になり、正確な試験ができない。
- ② 試験体の個数は、100m<sup>2</sup> ごと及びその端数につき 1 個以上、かつ、全体で **3 個以上** とする。  
※試験体の数が全面積で 2 個以下だと、引張接着強度が不十分なタイルを見逃しやすい。
- ③ 試験体の位置は、監督職員の指示による。

※上記の①～③の規定は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」に明記されている。  
以上(上記①)により、**㍷**の語句は**下地モルタル面**ではなく**コンクリート面**である。  
以上(上記②)により、**㍷**の数値は **2 個以上**ではなく**3 個以上**である。

セメントモルタルによる外壁タイル後張り工法の引張接着強度検査



**記述3. 屋根工事：鋼板製折板葺屋根のけらば包みの継手**

解答 ③

3. 鋼板製折板葺屋根におけるけらば包みの継手位置は、端部用タイトフレームの位置よりできるだけ **a** ほうがよい。

また、けらば包み相互の継手の重ね幅は、最小値 **b** mm とし、当該重ね内部に不定形又は定形シーリング材をはさみ込み、**c** 等で留め付ける。

	a	b	c
①	近い	100	ドリリングタッピンねじ
②	離す	60	溶接接合
③	近い	60	ドリリングタッピンねじ
④	近い	100	溶接接合
⑤	離す	100	ドリリングタッピンねじ



## 建設業法施行令の改正について

2023年(令和5年)1月1日に、建設業法施行令に定められた金額要件の見直しが行われました。この改正により、一般建設業の許可で制限される下請代金総額や、主任技術者・監理技術者の配置に関する金額などが変更されています。その概要は、以下の通りです。

✓ 近年の工事費の上昇を踏まえ、金額要件の見直しを行います。※( )内は建築一式工事の場合

	現行	改正後
特定建設業の許可・監理技術者の配置・施工体制台帳の作成を要する下請代金額の下限	4000万円 (6000万円)	4500万円 (7000万円)
主任技術者及び監理技術者の専任を要する請負代金額の下限	3500万円 (7000万円)	4000万円 (8000万円)
特定専門工事の下請代金額の上限	3500万円	4000万円

出典：国土交通省ウェブサイト（<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001521533.pdf>）



攻略編

# 1級建築施工管理技術検定試験 第二次検定

## 虎の巻 精選模試



1 令和6年度 虎の巻(精選模試) 施工経験記述編

2 令和6年度 虎の巻(精選模試) 第一巻

3 令和6年度 虎の巻(精選模試) 第二巻



← スマホ版無料動画コーナー QRコード

URL <https://get-supertext.com/>

(注意) スマートフォンでの長時間聴講は、Wi-Fi 環境が整ったエリアで行いましょう。

「虎の巻解説講習」の動画講習を、GET 研究所ホームページから視聴できます。

<https://get-ken.jp/>

GET 研究所

検索

無料動画公開中

動画を選択

※ 「虎の巻」解説講習では、「虎の巻(精選模試)第一巻」と「虎の巻(精選模試)第二巻」の解説を行っています。「虎の巻(精選模試)施工経験記述編」については、本書 34 ページで紹介している「施工経験記述の考え方・書き方講習」の動画をご覧ください。

# 令和6年度 1級建築施工管理技術検定試験 第二次検定 虎の巻(精選模試)第一巻

## 実施要項

- 虎の巻(精選模試)第一巻には、令和6年度の第二次検定に向けて、極めて重要であると思われる問題が集約されています。
- 試験時間は、60分間を目安としてください。
- すべての分野を解答してください。
- 解答は、記述式または五肢択一式です。
- 解答は、解答用紙に記入してください。
- 解答や解説を参考に、自己採点してください。
- 記入された解答が指定欄をはみ出している場合、その問題の評価は0点となります。
- **問題1** は、前述の施工経験記述編で取り上げたので、ここでは省略しています。  
この第一巻では、**問題2** ~ **問題6** を解答してください。

## 自己評価・採点表 (68点満点)

問題	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6
分野	施工計画	施工管理	躯体工事	仕上げ工事	建築法規
解答	記述式	記述式	記述式	五肢択一式	五肢択一式
配点	12	12	16	16	12
得点					

合計得点	点	41点以上で合格
------	---	----------

※配点は、GET 研究所の推定によるものです。

「虎の巻」解説講習 - 2

虎の巻(精選模試)第一巻

問題 2 施工計画(仮設備の安全管理)

次の設問 1 から設問 3 の設備または機械を安全に使用するために留意すべき事項を、それぞれ 2 つ具体的に記述しなさい。

ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、保護帽や要求性能墜落制止用器具などの保護具の使用・資格・免許・届出に関する記述は除くものとする。また、使用資機材に不良品はないものとする。

設問 1 ロングスパンエレベーター

設問 2 高所作業車

設問 3 バックホウ

問題 2 解答欄(配点: 12 点)

配点

設問 1	①		2
	②		2
設問 2	①		2
	②		2
設問 3	①		2
	②		2

虎の巻(精選模試)第一巻

問題 6 建築法規

次の設問1から設問3の各法文において、に当てはまる正しい語句又は数値を、下の該当する枠内から1つ選びなさい。

設問1 建設業法(主任技術者及び監理技術者の職務等)

第24条の6 主任技術者及び監理技術者は、工事現場における建設工事を適正に実施するため、当該建設工事の①の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理及び当該建設工事の施工に従事する者の技術上の②の職務を誠実に履行しなければならない。

①  ① 施工計画 ② 施工管理計画 ③ 安全計画 ④ 衛生計画 ⑤ 安全衛生計画

②  ① 指導 ② 教育 ③ 監督 ④ 指導教育 ⑤ 指導監督

設問2 建築基準法施行令(落下物に対する防護)

第136条の5第2項 建築工事等を行なう場合において、建築のための工事をする部分が工事現場の境界線から水平距離が③以内で、かつ、地盤面から高さが7m以上にあるとき、その他はつり、除却、外壁の修繕等に伴う落下物によって工事現場の周辺に危害を生ずるおそれがあるときは、国土交通大臣の定める基準に従って、工事現場の周囲その他危害防止上必要な部分を④でおおう等落下物による危害を防止するための措置を講じなければならない。

③  ① 3m ② 4m ③ 5m ④ 6m ⑤ 7m

④  ① 鉄網又は木柵 ② 鉄網又は帆布 ③ 帆布又は木柵 ④ 防網又は木柵 ⑤ 防網又は帆布

設問3 労働安全衛生法(事業者等の責務)

第3条第3項 建設工事の注文者等仕事を他人に請け負わせる者は、施工方法、⑤等について、安全で衛生的な作業の遂行をそこなうおそれのある⑥を附さないように配慮しなければならない。

⑤  ① 経費 ② 請負代金 ③ 使用材料 ④ 工程 ⑤ 工期

⑥  ① 要件 ② 条件 ③ 目標 ④ 制限 ⑤ 責務

「虎の巻」解説講習 - 11

問題 6 解答欄 (配点: 12 点)

配点

設問 1	①	① ② ③ ④ ⑤	2
	②	① ② ③ ④ ⑤	2
設問 2	③	① ② ③ ④ ⑤	2
	④	① ② ③ ④ ⑤	2
設問 3	⑤	① ② ③ ④ ⑤	2
	⑥	① ② ③ ④ ⑤	2

※この問題の解答は、選んだ番号を下記のマーク例に従って塗りつぶしてください。

マークの塗りつぶし例 ●

令和 6 年度 虎の巻(精選模試)第一巻 解答・解答例

問題 2 解答例 (配点: 12 点)

配点

設問 1	①	搭乗席には、落下物による危害を防止するための堅固なヘッドガードを設ける。搭乗席の周囲には、高さが 1.8m 以上の囲いを設ける。	2
	②	搬器の傾きを容易に矯正できる装置と、搬器の傾きが 10 分の 1 の勾配を超えないうちに動力を自動的に遮断する装置を備えておく。	2
設問 2	①	事業者は、作業方法が示された作業計画を定めると共に、作業の指揮者を定める。その者に、その作業計画に基づいて作業の指揮を行わせる。	2
	②	1 月以内ごとに 1 回、定期的に、制動装置・クラッチ・操作装置・作業装置・油圧装置・安全装置の異常の有無について、自主検査する。	2
設問 3	①	バックホウの運行経路について、路肩の崩壊を防止する・地盤の不同沈下を防止する・必要な幅員を保持するなどの措置を講じておく。	2
	②	運転者が運転位置から離れるときは、作業装置(バケット)を地上に下ろさせると共に、原動機を止め、かつ、走行ブレーキをかけさせる。	2

問題 3 解答例 (配点: 12 点)

配点

設問 1	作業内容表の空欄に当てはまる作業内容	壁クロス	2
設問 2	内装仕上げ工事工程表の(始)から(終)までの総所要日数	17 日	2
設問 3	フリーフロートが存在する作業の作業名①	B2	2
	作業名①のフリーフロート(日数)	1 日	
	フリーフロートが存在する作業の作業名②	A8	2
	作業名②のフリーフロート(日数)	2 日	
設問 4	工程の平滑化ができる作業の作業名①	B2	2
	作業名①の 1 日あたりの作業員数	2 人 / 日	
	工程の平滑化ができる作業の作業名②	A5	2
	作業名②の 1 日あたりの作業員数	3 人 / 日	

# 1 級建築施工管理技術検定試験 第二次検定

## 有料 施工経験記述添削講座 応募規程

### (1) 受付期間

令和6年5月22日から9月22日(必着)までとします。

### (2) 返信期間

令和6年6月6日から10月6日までの間に順次返信します。

### (3) 応募方法

- ①本書の611ページ・613ページ・615ページにある記入用紙(A4サイズに拡大コピーしたもので可)のうち、添削を受けたいテーマの記入用紙を切り取ってください。
- ②切り取った記入用紙に、濃い鉛筆(2B以上を推奨)またはボールペンで、あなたの施工経験記述を手書きで明確に記述してください。
- ③お近くの銀行または郵便局(お客様本人名義の口座)から、下記の振込先(弊社の口座)に、添削料金をお振込みください。振込み手数料は受講者のご負担になります。

添削料金	: 1テーマにつき(1通につき)3500円(税込)
金融機関名	: 三井住友銀行
支店名	: 池袋支店
口座種目	: 普通口座
店番号	: 225
口座番号	: 3242646
振込先名義人	: 株式会社建設総合資格研究社(カブシキガイシャケンセツソウゴウシカクケンキュウシャ)

- ④添削料金振込時の領収書のコピーを、617ページの申込用紙に貼り付けてください。
- ⑤下記の内容物を23.5cm×12cm以内の定形封筒に入れてください。記入用紙と申込用紙は、コピーしたものでも構いません。

#### チェック

- 施工経験記述 記入用紙(A票)
- 施工経験記述 申込用紙(B票)
- 返信用の封筒(1枚)

※返信用の封筒には、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し、切手を貼り付けてください。

- ⑥上記の内容物を入れた封筒に切手を貼り、下記の送付先までお送りください。

〒171-0021

東京都豊島区西池袋3-1-7

藤和シティホームズ池袋駅前1402

株式会社 建設総合資格研究社

(1級建築担当)

※この部分を切り取り、封筒宛名面にご利用いただけます。

※封筒には差出人の住所・氏名を明記してください。

# 施工経験記述 記入例・添削例

氏名

氏名を忘れたら記入する

問題文は 610 ページに掲載されています。

※必ず手元に原文またはコピーを保管してください。

## 令和6年度 1級建築施工管理技術検定試験第二次検定(品質管理)

〔工事概要〕

㊶	工事名	名古屋あじみ老人福祉ホーム増築工事
㊷	工事場所	愛知県名古屋市千種区丸の内3丁目2-9
㊸	工事の内容	老人施設 RC造 14階建 増築面積 680m <sup>2</sup> 外壁タイル仕上げ, 内装木板張り
㊹	工期等	令和2年1月~令和3年2月
✕	あなたの立場	工事監理 → 監督 (ホ)の欄は空欄や言字があると不合格です。
㊺	あなたの業務内容	建築工事に係る施工管理

問い1. あなたが担当した工種において実施した品質管理活動の事例

事例①	①	要求された品質	構造物の耐力
		品質管理項目	コンクリートのスランプ・空気量 → 圧縮強度
		工種名	コンクリート工事
事例②	②	取り上げた理由	RC造の構造物の耐力は、コンクリートの圧縮強度で決定されるから。
	③	実施した内容	コンクリート打込み時にスランプ・空気量を管理し 28日強度を確認した。 → 養生後の圧縮強度
	①	要求された品質	鉄筋コンクリートの耐力
事例②		品質管理項目	鉄筋の圧接部の品質 → ふくらみ
		工種名	鉄筋工事
	②	取り上げた理由	鉄筋継手の耐力は、圧接部の形状により決定するため。
事例③	③	実施した内容	ガス圧接後、圧接面のふくらみが鉄筋径の1.1倍以上であることを確認した。 → 1.4
	①	要求された品質	外壁面の見栄え
		品質管理項目	型枠の精度 → せき板の平坦性
事例③		工種名	型枠工事
	②	取り上げた理由	コンクリート外壁は打放し仕上げで平坦性が特記で定められていたから。 → あり
	③	実施した内容	外壁面に用いるせき板はA種を用い目隠しや不陸をなくし施工精度を確認した。 → 長さ3mにつき±7mm以内の平坦性

問い2. 品質管理活動の周知方法および確認方法

①	周知するための方法・手段	QC工程表を作成し、下請と一体化して活働者へ周知することによって品質管理活動を明確にする。
②	確認するための方法・手段	施工後に予め定めた試験を行う。その数値が許容差の範囲であることを確認する。 → 範囲内

評価	工事概要	合(○)	問い1.	合(○)	問い2.	合・否	総合評価	合・準(○)
コメント	工事概要は不合格、問い1は不合格の可能性があり、問い2は合格です。 [ ]:誤りではないが書き換えが望ましい箇所 [ ]:修正する必要がある箇所							



---

[著 者] 森野安信

著者略歴

1963年 京都大学卒業

1965年 東京都入職

1988年 1級建築施工管理技士資格取得

1991年 建設省中央建設業審議会専門委員

1994年 文部省社会教育審議会委員

1998年 東京都退職

1999年 GET研究所所長

[著 者] 榎本弘之

---

スーパーテキストシリーズ

令和6年度 分野別 問題解説集

1級建築施工管理技術検定試験 第二次検定

---

2024年5月16日 発行

---

発行者・編者 森野安信  
GET 研究所  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-1-7  
藤和シティホームズ池袋駅前 1402  
<https://get-ken.jp/>  
株式会社 建設総合資格研究社

---

編集 榎本弘之  
デザイン 大久保泰次郎  
森野めぐみ

---

発売所 丸善出版株式会社  
〒101-0051 東京都千代田区神田  
神保町2丁目17番  
TEL : 03-3512-3256  
FAX : 03-3512-3270  
<https://www.maruzen-publishing.co.jp/>

---

印刷・製本 中央精版印刷株式会社

ISBN 978-4-910965-17-8 C 3052

---

●内容に関するご質問は、弊社ホームページのお問い合わせ(<https://get-ken.jp/contact/>)から受け付けております。(質問は本書の紹介内容に限ります)